

【夢工房のあまりに拙速な保育園計画には反対しよう！】

計画発表：2013年9月 説明会：2013年10月19日

建築着工：2014年6月 オープン：2015年春

池田山住宅地のほぼ真ん中、元鈴乃屋の小泉さんがお暮らしになっていた300坪の邸宅が、その後転売され、現在関西の「夢工房」という社会福祉法人の所有になっています。そこに2015年春開園予定の「認可保育所」計画が、夢工房から品川区にもちこまれました。敷地めいっぱい3階建ての建物で、屋上に園庭があります。池田山住民の多くは、社会福祉活動が適切に運営されるのなら住民エゴと呼ばれるような行動には走りません。しかしこの間、夢工房からはわずか1回の説明会があっただけで、このままですと2014年6月には、近隣住民への挨拶さえないまま、建設が着工されてしまいます。

まだ池田山にお住まいの方の多くに、保育園計画が周知されていない段階ですので、賛成とか反対とか態度を決めておられる方はほとんどおられないと思います。しかし10月19日の第1回事業者説明会では、出席した池田山住民の方々から、次のような多くの疑問点が質されました。

- 1) 区による認可保育所の入所調整で入園できる幼児が少ない池田山になぜ計画されるのか？
- 2) 税金によって運営されてきた夢工房の池田山の土地投資（300坪で推定十億円）は適切か？
- 3) 池田山はこれまで閑静な住宅地という品川区のまちづくり方針に従って開発されてきた。保育園ができることによって池田山の環境は大きく変わるが、区からの説明がないのはなぜか？
- 4) 通園のための自転車がひきおこす交通問題について、どのような対応をするつもりか？

.....

1) 保育所を必要とする池田山の住民がおられたとしても、今回の「夢工房」は、大崎・五反田広域エリアの乳幼児を、「保育に欠ける」程度によって区が入所調整をして預かる認可保育所なので、該当幼児数は少ないはず（品川区は実態調査を全くしていません）。そこに100人規模の保育所がなぜ必要なのでしょう。品川区は国の政策なので地域住民とは無関係と言っています。

2) 民間といえど、運営費のほとんどが私達の税金でまかなわれている社会福祉法人の、高額な不動産投資行動は甚だ疑問です。例えば運営事業費は、保護者負担はごく一部で、ゼロ歳児だと品川区の場合最高月額39.5万円が認可保育所に支払われます。また施設の建築費の7/8が税金によって補助されます。保育士の人件費を削って蓄積された利益を不動産購入に充てる、というのがはたして私たちの民意に適った社会福祉活動と言えるでしょうか。

また夢工房は東京では目黒区に2年前に保育所を開設していますが、そこは放置自転車の駐輪場の一部を借地したものです。夢工房の全国の保育所のほとんども公立保育所をそのまま引き継いだり、借地していたりするもので、今回の池田山不動産投資の件は突出していると言わざるを得ません。

3) 夢工房の設計図では、1987年に制定された「池田山環境協定」の申し合わせは全く無視されています。環境協定は、住民の合意に基づく環境優先の街づくりをお互いに実践するためのものです。新築改築にあたっては、近隣住民の合意と協調が得られなければなりません。もちろん隣家のプライバシー

は守らなければならないのですが、今回の建物はもともと地盤面が2 m近く高いところに3階建ての園舎で、屋上に園庭を設けています。

さらに問題は、池田山は島津山などと並んで閑静な住宅地という整備方針が、品川区から特別に出されている地区なのです。だからこそ今回の保育所計画については、品川区自身の説明が必要なのです。他の同様の住宅地区には保育所が全くないので、しかし品川区は「まだ何も決まっていない」と答えるのみです。

4) 当然、騒音公害、交通問題が起こるのですが、このまま住民が何も言わなければ、2015年の開所まで、だんまりを決め込むのではないかと思います。実際以下のようなことは、私達の生活にすぐに影響が出ると思います。しかもそれは今後保育所が廃業されるまで続きます。

騒音：朝6時半～午後8時半、今後都市部の保育所の傾向としては、24時間の運営になる可能性。

現在国会で「保育」の問題がとりあげられており、これまでの保育行政とは違う方向に大きく舵取りされようとしていますので、現段階で開所時間等が近隣に保証されても、近い将来変更される可能性が大いにあります。

交通：自転車による人身事故、幼児を巻き込んだ交通事故の多発の可能性。

池田山の外から通園する方たちはほとんど自転車を利用されることが予想されます。最近ですと坂道も電動自転車なら楽にあがって来れるからです。しかし池田山は周辺から、道幅の狭いわずか3本の進入路しかありません。そこに朝夕の送迎時間帯は自転車や車が殺到するので、特に通園路に面してお住まいの方や歩行者の方には迷惑が及びます。

また夜間に及ぶ通園時の幼児の道路飛び出しは、反射神経の衰え始めた高齢者運転には大変危険です。「幼児が（違法駐車）の）かげから飛び出してきたりして、轢いてしまうのが怖い」という恐れは切実です。『信号』や『ガードレール』がある商業地域とは違うからです。保育園ができたなら、四ツ辻全方向が『一時停止』になるかもしれません。

この問題に関して、区の道路交通課は「事故」が起こるまで対策を立てる様子は見られません。

区に今回の保育園新設の申請の有無を問い合わせたところ、申請は開所の20日前に出せばよいとのことでした（都から区に認可方法は委せられてしまっているので、区によって対応はマチマチです）。

このように数多くの問題点がありながら、夢工房も品川区も池田山住民との話し合いを避けて通ろうとしています。私たちが声をあげない限り、「合法」と称して地域を無視した「公共事業」を押しつけて顧みようとしません。私たちは池田山の環境を大事に守りながら、この地域にあった「保育所」「社会福祉施設」は作れるはずだと考えています。それを住民エゴのような言い方で封殺しようとするのは、地域コミュニティの自発性をないがしろにする強権的な行政のあり方と言えるのではないのでしょうか。ぜひ幅広くこの問題を議論する場をつくるためにも、このままでの「夢工房の保育所計画」に対して反対の輪に入ってくださいたく、よろしくお願いします。